

フィールド風

(現場)からの風

宮田守男

4月中旬に立山黒部アルペンルートが開通した影響もあり、大型観光バスの通行量が増えてきた。久しぶりの観光バスを見るよ、今

後の観光への期待が膨らんでしまう。春の訪れを尋ねて、山菜を買い求める多くの人。山の恵みとは有り難いと思う季節だ。

4月に入り新年度予算が執行され多くの場所です。大型連休前までに信州を訪れる皆さんに、道路環境を良くしたいとの思いに感謝だ。

通行量も春の自然を求めて増えてきている。だがトンネル通過時に無灯火の車の多いことに驚く。不注意で灯火しない車とは明らかに違い制限速度を大幅に超えてセンターラ

インを無視した車に怒りを覚えてしまう。違反罰金や減点になる違反でもあるが、対向車が高齢者などの弱者の運転手ならば重大事故になる可能性は大きいはずだ。警察の検挙も難しいことではあるだろうが、運転手に優しい長野県として評価されるような取り組みを期待したい。

相模原市のキャンプ場で木が根元から倒れてテントに直撃し、20代の女性が死亡した事故が発生した。樹木の管理が十分行われていない大北地域内でも起

こりえる事案だ。樹木の専門家の診断を行うには限りがあることも事実だ。地域内の一人一人が樹木の知識を得ることも重要だ。

訪れやすい観光地の意識を高めよう

樹木医の和田博行さんは木が枯れているポイントとして、新緑の

時期に葉っぱが付いていなかったり、新芽が出ていなかったり、本来は伸びている枝が折れている場合は注意が必要だ。そして根が腐っていると判断できるのは「ベッコウタケ」などの、木の中の組織

を腐らせるキノコが根元に近い部分に生えている場合や、木が簡単に揺れる場合も注意が必要だと情報発信している。

地域住民が危険を察知した事例に対応できるかが自然環境を売りにした地域の在り方ではないだろうか。ソメイヨシノの寿命60年説、人工的につくられたソメイヨシノは50〜60年すると樹勢が衰え、枯れてしまう説だが、管理が適切に行われ、根の周りに芽を出した若木を伸ばし、母樹を伐採すれば地域の桜は途絶えない

いと言う。「さだまさし」さんの「古い時計台の歌」の中で「古い桜が咲かせる花は決して古い花でないように」と。地域桜を守り通してほしいと願うばかりだ。

(信州地域社会フォーラム会員・白馬村森上)



寒風の中、大町市で開催されたソフトボール長野県大会。選手たちは実に楽しそうにプレーする。